

盛岡地区かわまちづくり懇談会（設立準備会）議事要旨とその対応について

懇談会（設立準備会）での主な意見	懇談会（設立準備会）での回答	対応について	
<p><b>1. 懇談会の位置づけ、進め方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわまちづくりでは、まちのほうについてどれくらい私どもが触れていいものか。中津川沿いの道路であるとか、例えば岩手公園についてだとか、その辺についての提案とか意見というものは、出してもいいものなのか。</li> <li>・かわまちづくり懇談会で、どういうところを議論するかとか、その辺のところを詰める必要があると思う。</li> <li>・個別の議論はワークショップで、とそういう話になってしまっていて、何を議論していいかわからなくなってしまっていると思う。</li> <li>・予算等、どのように話し合うか？やれそうなこと、やりたいことを挙げていく時に、予算的なことを含めて考えていく必要があるのか？</li> <li>・北上川も範囲になっているようですが、順番としてまず中津川ということか。</li> <li>・計画案のどの辺まで具体的なものを出すのか、どこまでやるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かわまちづくり懇談会は大まかな方針を検討して、賑わいの創出、観光の推進についてどういった活用が出来るのかというようなところを考えていきたい。</li> <li>●規約の第3条所掌事項に全部で4つの項目について意見交換を行うものとするらせていただいている。我々が提案する素案を紹介させていただいて、広く意見をいただくことを考えている。</li> <li>●中津川にはまちづくり計画があるため、早いほうがいいのではないかと考えている。</li> <li>●計画案は観光の推進、賑わいの場の創出というところの目的と、あとそれに見合ったような素案を作成したい。</li> </ul>	<p><b>1) 懇談会の位置づけについて【資料2】</b></p> <p>○目的 北上川・中津川において、「賑わいの創出」「観光の推進」等によって、地域活性化を図ることを目的に、各種取組みに対する意見交換を行ない（規約第2条）、かわまちづくり計画(案)を検討する</p> <p>○かわまちづくり計画(案) 【検討範囲】北上川・中津川、その沿川地域 かわまちづくり計画(案)は、懇談会と事務局との継続的な議論によって、柔軟で発展性のある性格を有する</p> <p>【計画(案)骨子】</p> <table border="1" data-bbox="2288 680 2792 793"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわまちづくり計画の目標像</li> <li>・全体ゾーニング・ネットワーク方針</li> <li>・ソフト施策・ハード対策</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>○ワークショップ(WS)との関係 ・WSは、懇談会がより具体的に議論が必要と認めた場合、一定区間において検討する組織 ・WSからの提言を懇談会に諮り、かわまちづくり計画に反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわまちづくり計画の目標像</li> <li>・全体ゾーニング・ネットワーク方針</li> <li>・ソフト施策・ハード対策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわまちづくり計画の目標像</li> <li>・全体ゾーニング・ネットワーク方針</li> <li>・ソフト施策・ハード対策</li> </ul>			
<p><b>2. かわづくりへの要望について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中ノ橋の下のイベントエリアの広場は使い勝手がちょっと悪いと思う。下水が川に流れ込む排水路が、イベントスペースを狭くしているため、蓋がかけられるといい。</li> <li>・フットパス計画も大変だが、出来ればここに魚を呼び戻したいと思っている。NPOはカジカをシンボルにしているが、このカジカをなんとか増やしたい。上流の色々な環境を含めるとそう簡単には出来ない話なので、今回の事業でその取っ掛かりが出来たらいいと考えている。</li> <li>・河川敷の植生は牧草というのは単調な植生で、歩いていても面白味も何もないので、もっと色々な植物が生えていて、野の花がたくさん咲いているような、色々な草花を増やしたい、河川敷に合った、そういう草花を増やしたい。</li> <li>・橋については触れていないような気がする。かわまちづくりの中で、橋というものの存在を要素としてあまり見えてこない。橋は重要な要素ではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川に架かる橋というのは重要な要素になってくる。</li> </ul>	<p><b>2) まちづくりとかわづくりの多様な機能構築について（水辺空間特性図）【資料3】</b></p> <p>○マクロ的視野で「まちづくり」と「かわづくり」の関係性の共有化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) まちの中の自然環境・身近な水辺空間・景観軸</li> <li>2) まちの中の地域コミュニティ</li> <li>3) まちの中のネットワーク</li> <li>4) まちづくりの中の観光資源・レクリエーションとの連携</li> </ol> <p style="text-align: center;">↓</p>	
<p><b>3. まちづくりとの連携等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備は河川国道事務所の管轄で、それ以降の賑わいの場の創出といったものは、盛岡市さんのほうが主となるというふうなイメージで捉えてしまったのですが、それが、適切なのかどうかということを確認させていただきたい。</li> <li>・かわまちづくり計画に関する追加の整備はどのような仕組みで進めていくのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●護岸整備など河川管理に必要なものは、河川管理者が支援していく。賑わいの場の創出の活用に関することは盛岡市が主体となるのが想定されるが、かわとまちと連携してやっていきたい。</li> <li>●出来る出来ないの仕分けを整理しながら、進めさせていただきたいと思う。</li> </ul>	<p><b>3) かわとまちとの連携について【資料4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○河川・沿川地域の特性区分</li> <li>○まちづくりの現状と方向性</li> <li>○かわづくりに求められる機能・まちとの連携の考え方 等</li> </ul>	

### 盛岡地区かわまちづくり懇談会の位置づけと進め方について

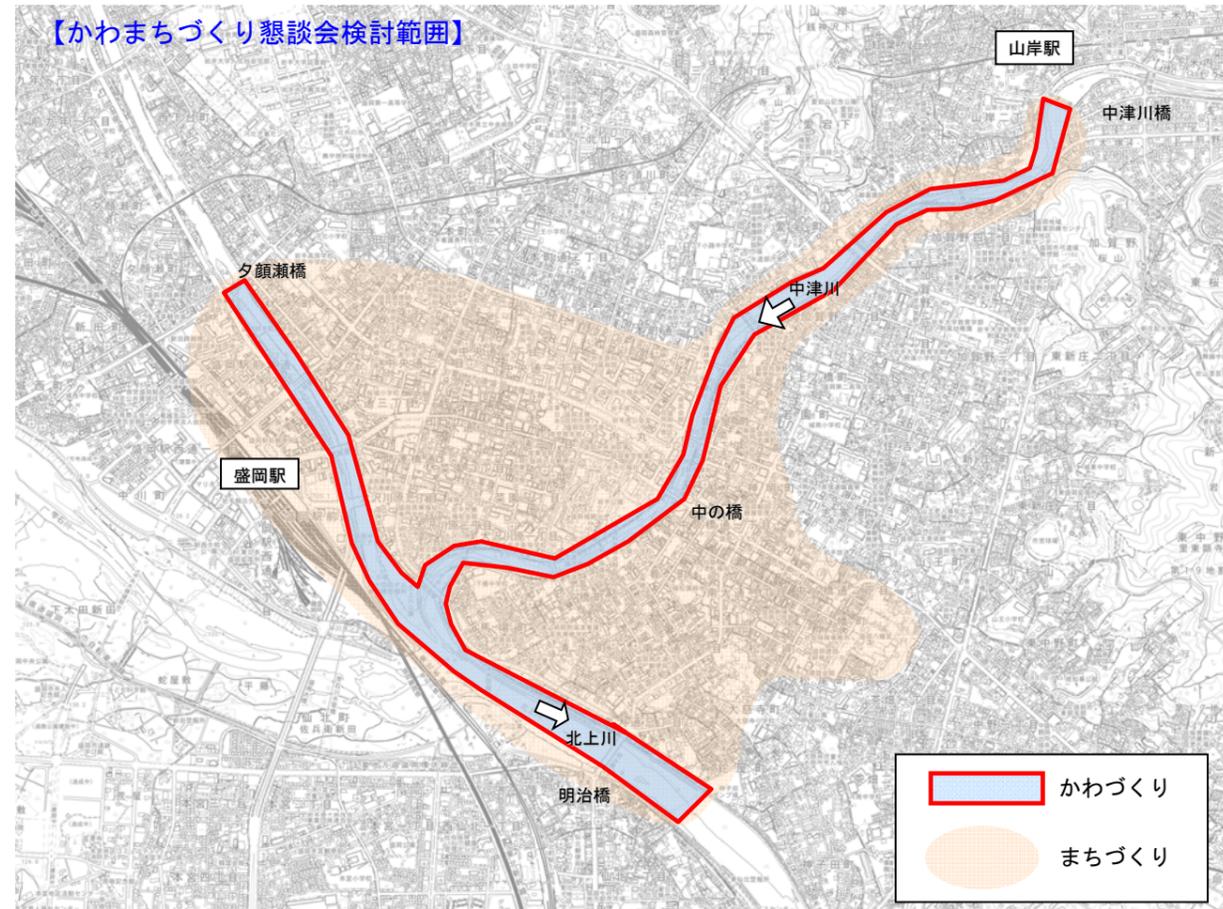
#### 1) 懇談会の位置づけと役割

「盛岡地区かわまちづくり懇談会」は、下図に示す河川区域内と沿川のまちづくり計画区域、及び沿川地域を検討範囲とし、まちづくりの視点、かわづくりの視点の双方から、「まち」「かわ」の望ましい姿、整備のあり方、利用の方向性について「かわまちづくり計画(案)」として検討し、盛岡市・国土交通省に対し提案する。提案を受けた盛岡市・国土交通省は、ハード整備の実施、市民との協働可能な事業について検討し、懇談会に報告する。かわまちづくり計画(案)は、今後、継続的に議論、検討する過程において改善、改良を繰り返しながら事業を進めるための計画として柔軟で、発展性のある性格を有するものとする。

また、必要に応じ具体的な検討が必要とした場合、地域住民等で構成されるワークショップ等を設置できるものとし、その意見(提言)についてとりまとめる役割を担うものとする。

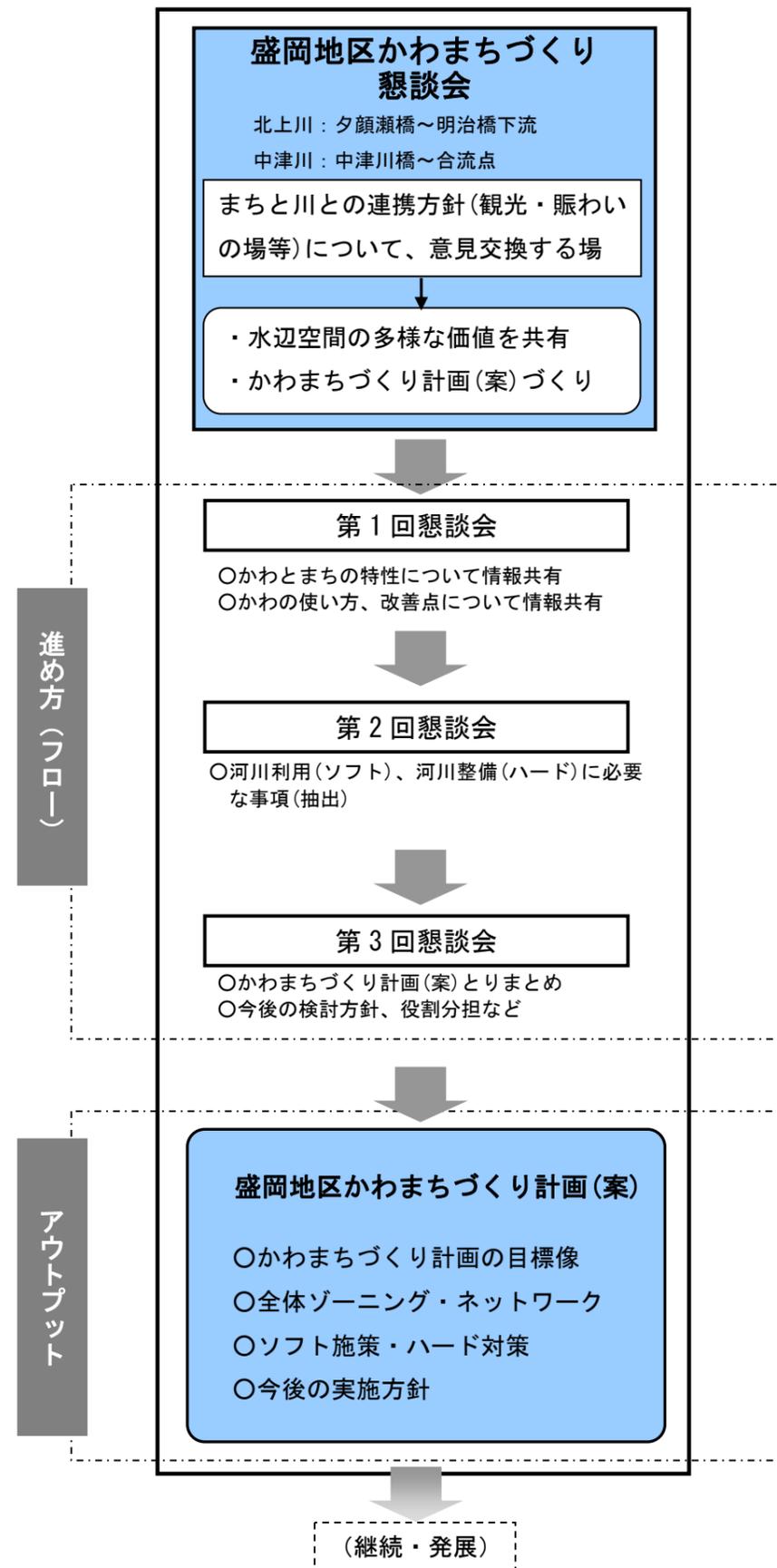
**「かわまちづくり計画(案)」の骨子**

- ⇒かわまちづくり計画の目標像(まちとかわとの良好な関係構築のあり方・方向性)
- ⇒全体ゾーニング・ネットワーク(基本方針:今年度は主に観光・賑わいを主眼として)
- ⇒ソフト施策(水辺利用の活性化とその支援方策、まちづくりとの連携方策)
- ⇒ハード対策(主に河川内の安全で利用しやすい水辺空間づくり方策)

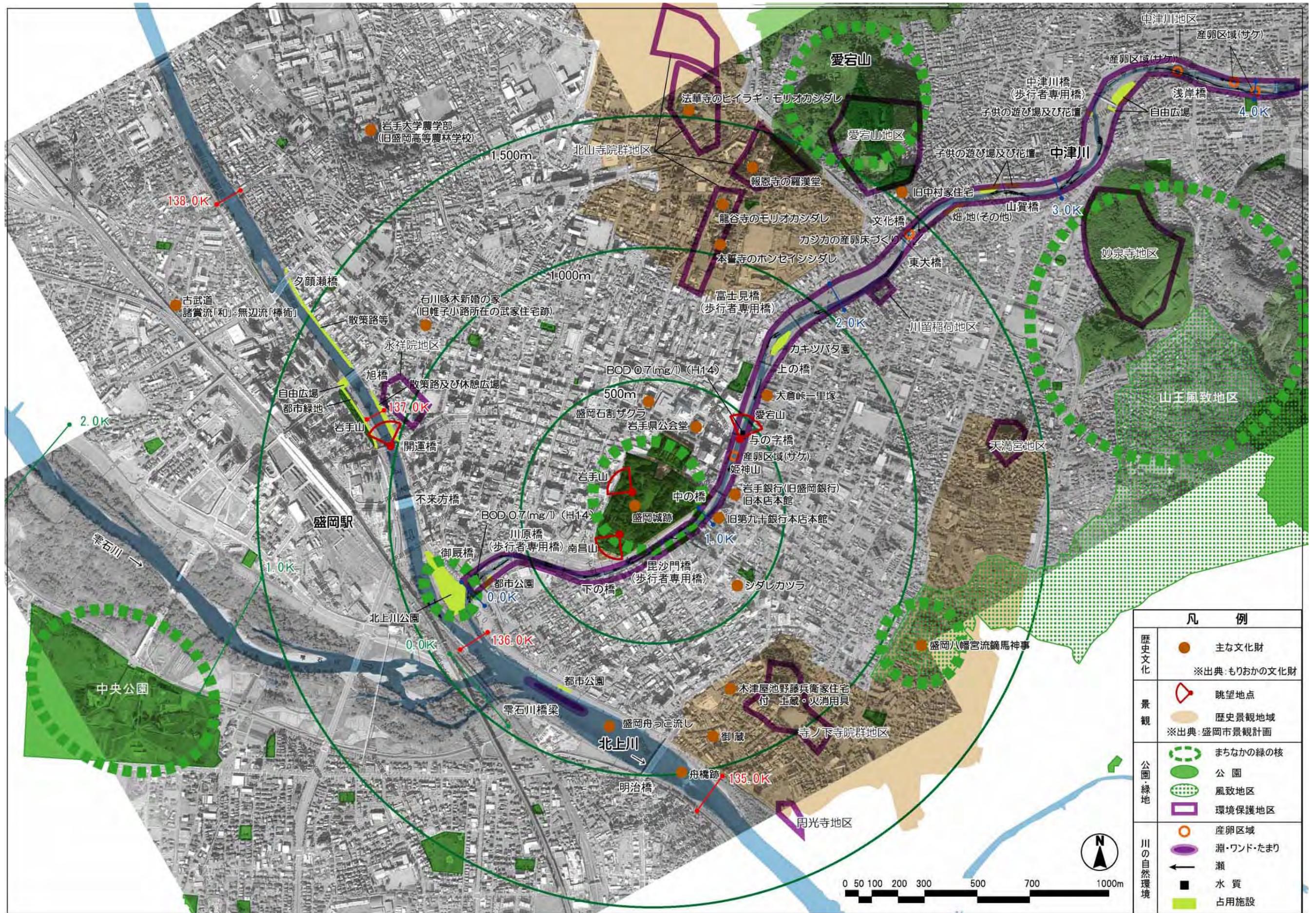


まちづくりの区域は、対象河川区間沿川地域及び、盛岡市のまちづくり計画(都市再生整備計画・中心市街地・街並み環境整備・お城を中心としたまちづくり)を含む区域とする。

#### 2) 懇談会の進め方について(事務局案)

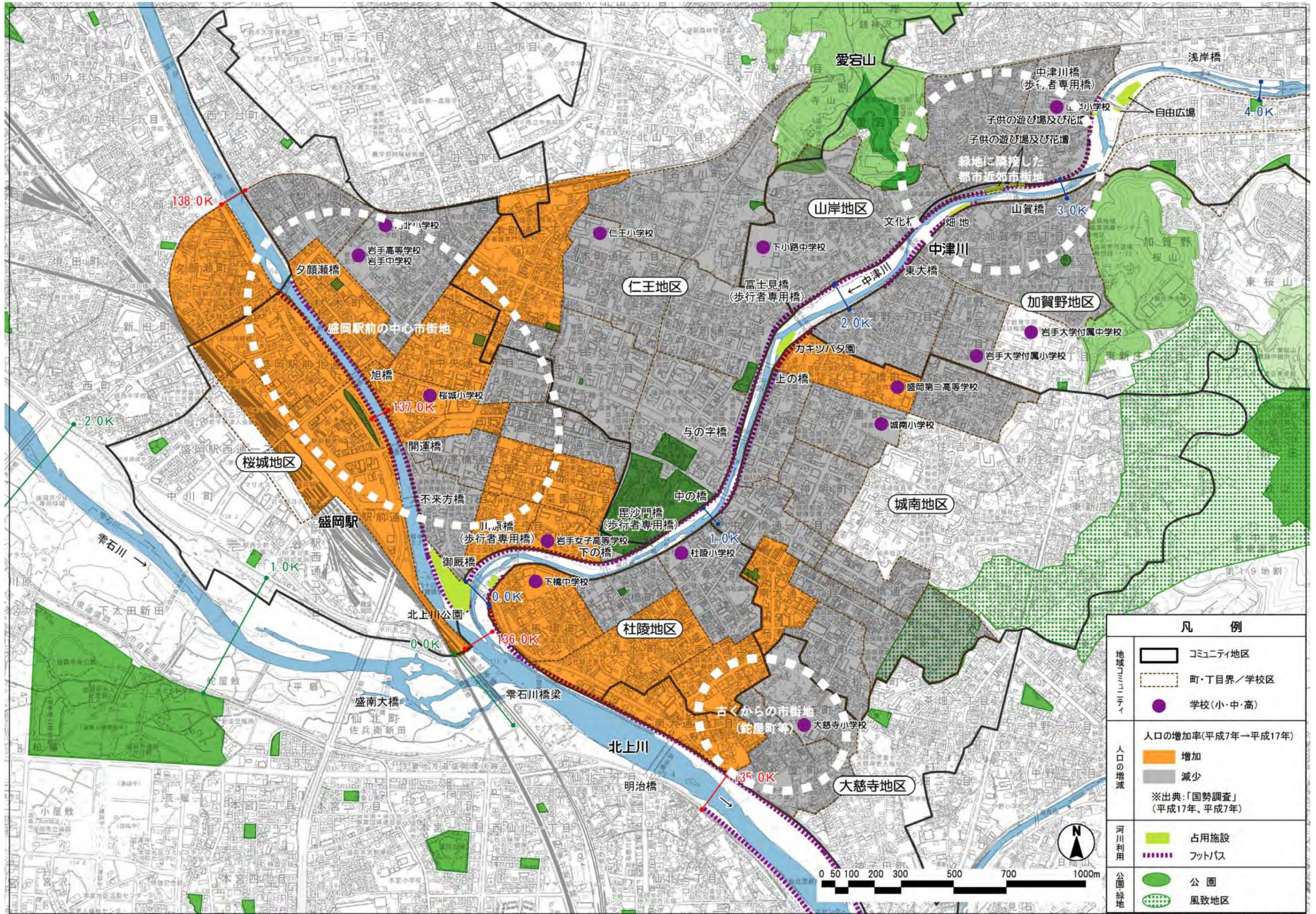


1. まちの中の自然環境・身近な水辺空間・景観軸・歴史・文化軸

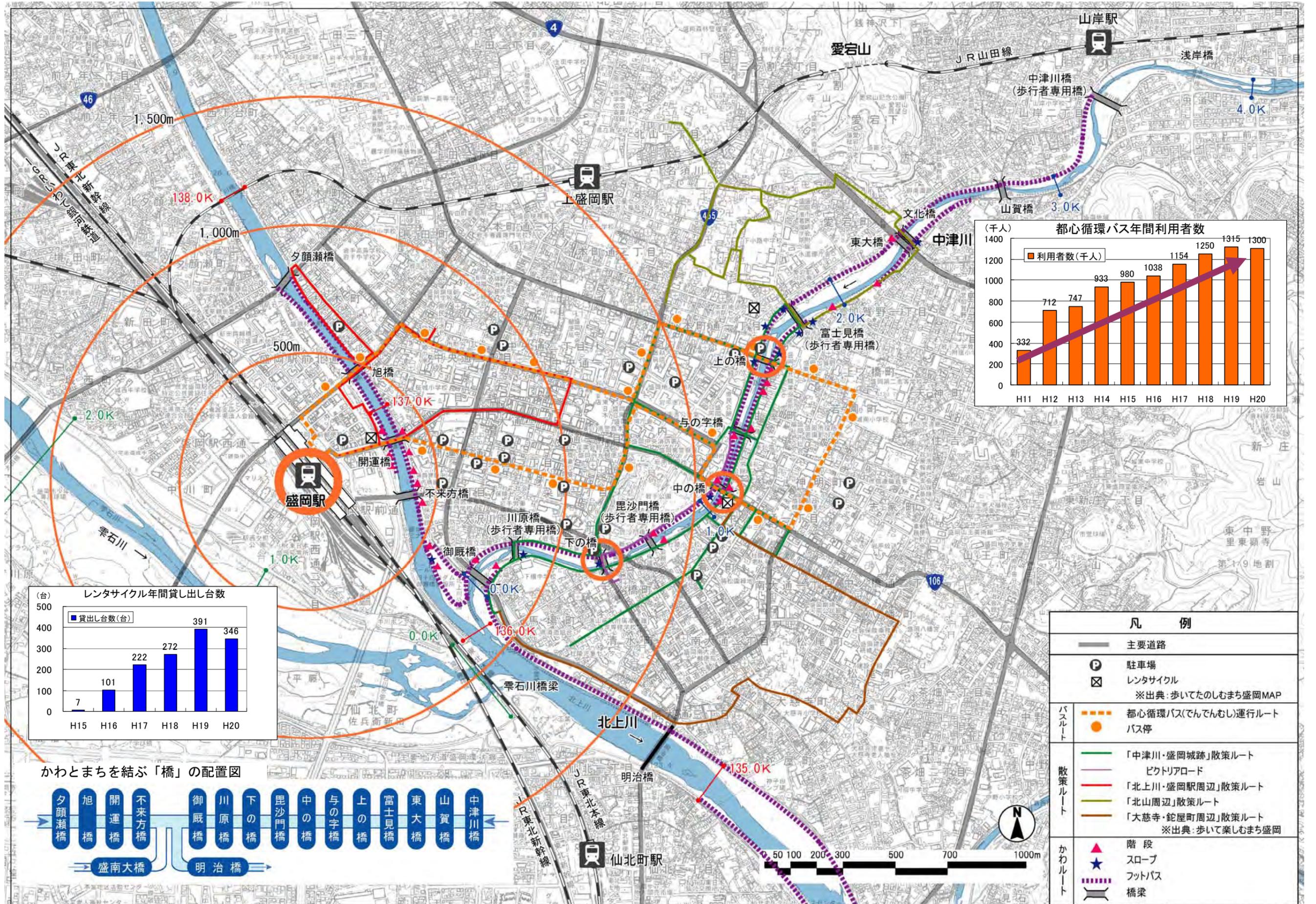


凡 例	
歴史文化	● 主な文化財 ※出典: もりおかの文化財
景観	◁ 眺望地点 ■ 歴史景観地域 ※出典: 盛岡市景観計画
公園・緑地	○ まちなかの緑の核 ● 公園 ■ 風致地区 ■ 環境保護地区
川の自然環境	○ 産卵区域 ■ 淵・ワンド・たまり ← 瀬 ■ 水質 ■ 占用施設

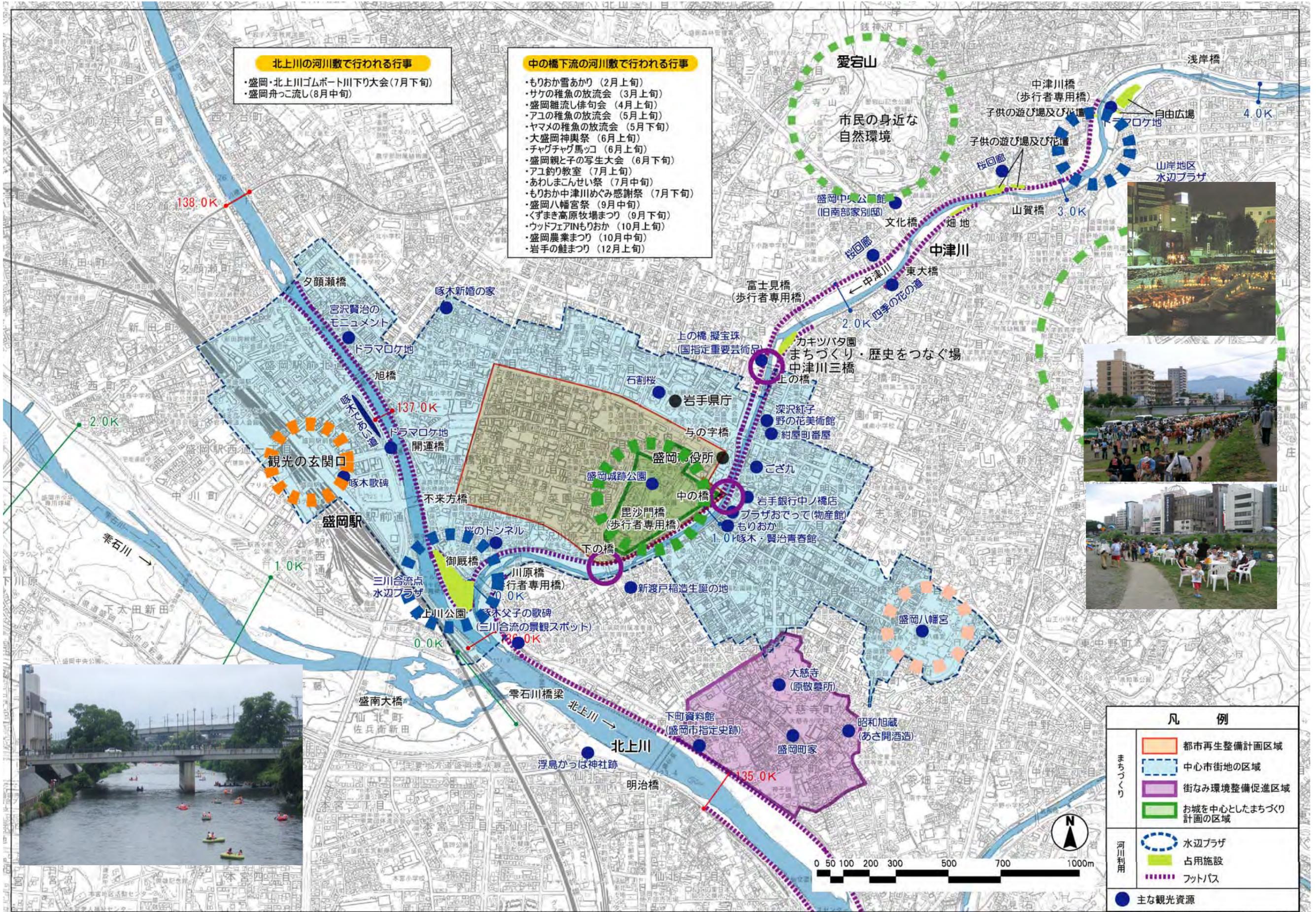
2. まちの中の地域コミュニティ



### 3. まちの中のネットワーク



4. まちづくりの中の観光資源・レクリエーションとの連携





かわづくりとまちづくりの連携表

三川合流

	北上川 →			← 中津川										
	138.0	137.0	136.0	0.0	1.0	2.0	3.0							
まちづくり都市構造	(左岸) 中心市街地活性化計画 駅前商店街 街なみ環境整備			(右岸) 中心市街地活性化計画 大通商店街 都市再生整備計画(盛岡城跡公園周辺地区) お城を中心としたまちづくり計画			愛宕山	山岸駅						
土地利用(用途)	一種住居	商業		近隣商業	商業	公園・緑地	商業	一種住居	二種住居	一種中高層				
階段・坂路	▼▼▼▼★▼▼▼▼▼▼▼▼★▼			▼▼▼▼★▼▼▼▼▼▼▼▼★▼										
階段▽、坂路★	タ顔瀨橋			旭橋			開運橋			不来方橋				
河川空間	フットパス			フットパス			フットパス			フットパス				
階段▲、坂路★	▲▲▲▲			▲▲▲▲			▲▲▲▲			▲▲▲▲				
土地利用(用途)	近隣商業	商業	工業	一種住居	商業	近隣商業		一種住居						
まちづくり都市構造	(右岸) 中心市街地活性化計画 盛岡駅			(左岸) 中心市街地活性化計画 盛岡八幡宮						山王風致地区				
特性区分 (6区分・5拠点)	① 盛岡の顔・賑わい・交流 開運橋○			② 三川合流の豊かな自然 ○北上川公園			③ 北上川と盛岡城跡を結ぶ水辺 下の橋○		④ 盛岡城跡との一体感 中の橋○		⑤ 中津川の歴史・自然 上の橋○		⑥ 市民の身近な自然・水辺	
	・盛岡市(盛岡駅)の玄関口 ・北口駅前商店街との連続性 ・イベントの開催			・三川合流 ・大河川の自然環境 ・歴史(街並み・船場跡)			・水辺ネットワークの結節点 ・拠点(都市～歴史・文化)間を結ぶ緩衝区間 ・水辺の自然環境		・盛岡城跡公園の中心性 ・一体的水辺空間 ・イベントの開催		・上の橋・下の橋 ・地域コミュニティ・観光資源の集積 ・愛宕山の眺望		・緑豊かな住宅市街地 ・愛宕山、桜山は身近なランドマーク	
まちづくりの現状と方向性	○盛岡市の玄関口にふさわしい中心市街地 ○市民と来訪者(観光客)との交流の場 ○岩手山の眺望の保全・活用			○鉾屋町の歴史ある街並みの保全形成 ○新山舟橋跡：旧盛岡城下町の南口			○市民の身近な水辺としての保全・活用		○盛岡市のシンボル空間 ○盛岡城跡公園との一体的水辺空間		○散策空間としての回遊性向上		○身近で自然豊かな丘陵地、中津川の水辺軸の保全・活用	
まちから見たかわづくりの視点	ご意見をいただきたい内容：「河川空間の活用可能性」・「河川に求められる具体的な方策」など													